



1. 「2026 KGRI Grant」募集開始！2026年2月2日（月）～4月3日（金）正午

次に挑戦する研究者について、研究分野を問わず広く対象とします。A)外部資金獲得へ向けた研究プロジェクトの形成と実績づくり、B) これまでに獲得した各種研究資金よりも大型の競争的資金への応募に向けた戦略的な研究。（OIST研究者との連携がある場合は重視します。）（2月）

2. 参画機関 SOAS University of LondonとDHシンポジウムを共催、メディア論の講演を実施

文学研究科とロンドン大学東洋アフリカ研究学院との共催で、人文学の新たな国際的潮流である「Digital Humanities」をめぐるシンポジウムを共催し、学知におけるデータやアーカイブの在り方について議論しました。また、同校講師によるデジタル・プラットフォーム研究の講演会を開催しました。（1月）

3. OIST-Keio Showcase Talk 9 “Proteins in Focus: Cryo-EM and Structural Frontiers”開催

慶應WPI-Bio2Q「構造解析ユニット」とOIST「Molecular Cryo-EMユニット」を中心としたメンバーに、大阪大学蛋白質研究所の研究者も加わり、主にタンパク質を解析対象として、クライオ電子顕微鏡が切り拓く最先端の構造研究について議論しました。（1月）

4. 量子コンピューティングセンター（KQCC）にデロイト トーマツ が参画

J-PEAKS研究拠点である量子コンピューティングセンターは、合同会社デロイト トーマツを新たなパートナーとして迎えました。量子技術の研究・開発だけでなく、産業界との連携をさらに強化し、量子技術の社会実装を発展させ、量子産業エコシステム形成に貢献していきます。（12月）

5. 「慶應義塾イノベラボ@鶴岡サイエンスパーク」（イノベーションと出会う / イノベーションを学ぶ）開催

キックオフ・セッションを経て、保険会社や金融機関などの投資対象者らはイノベーション・エコシステムの拠点である本学先端生命科学研究所や数々のディープテック・スタートアップが集積する山形県の「鶴岡サイエンスパーク」を訪れ、共同ワークに臨みました。最終セッションでは、私たちが直面する現代社会の諸課題をいかに乗り越えていけばいいのか、イノベーションを共創していくための人材育成の重要性をあらためて確認しました。（9～11月）